

青森中央学院大学卒業生（看護学部）に関するアンケート集計結果【施設用】（令和2年9月発送分）

対象年度：1期生 男8名 女66名 合計74名
2期生 男1名 女18名 合計19名

施設 総先数：55
卒業生 総先数：93 回答数：54 回答率：58.1 %

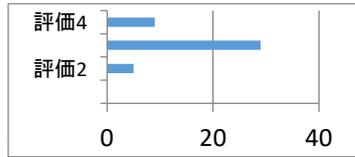
1. 本学卒業生について

評価基準

評価4	そう思う	評価3	ややそう思う	評価2	あまり思わない
評価1	全く思わない				

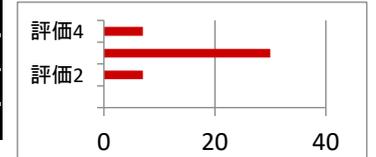
1) 看護学の基礎的な理論をもとに、対象を理解できる

評価4	9
評価3	29
評価2	5
評価1	0



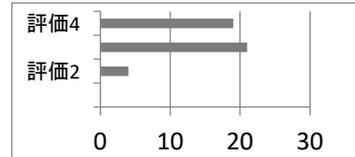
2) 対象の健康課題を分析し、問題点を明らかにできる

評価4	7
評価3	30
評価2	7
評価1	0



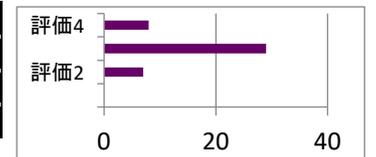
3) 対象に合わせた看護を実践している

評価4	19
評価3	21
評価2	4
評価1	0



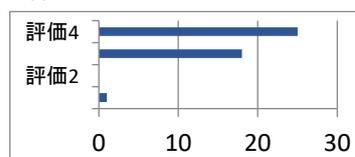
4) 科学的根拠を理解し、看護援助を実施している

評価4	8
評価3	29
評価2	7
評価1	0



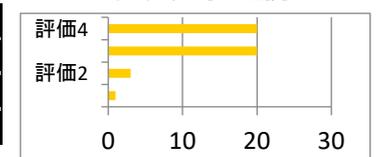
5) 看護の対象と適切な関係を形成している

評価4	25
評価3	18
評価2	0
評価1	1



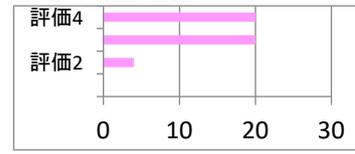
6) チーム医療の重要性を認識し、多職種等と連携している

評価4	20
評価3	20
評価2	3
評価1	1



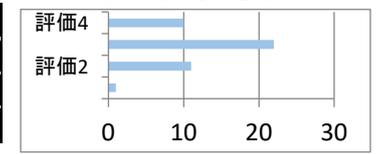
7) 対象の人権を尊重し、擁護する倫理観がある

評価4	20
評価3	20
評価2	4
評価1	0



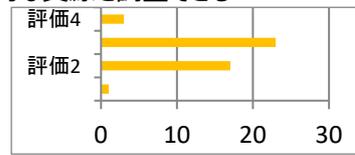
8) 自ら疑問をもち、問題解決に向けて努力できる

評価4	10
評価3	22
評価2	11
評価1	1



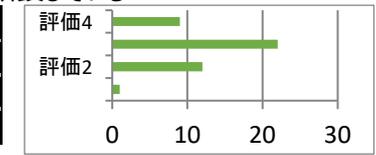
9) 人的・物理的・経済的な資源を調整できる

評価4	3
評価3	23
評価2	17
評価1	1



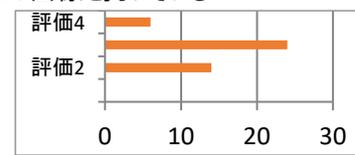
10) 専門職として自己研鑽している

評価4	9
評価3	22
評価2	12
評価1	1



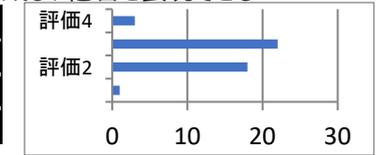
11) 専門職としての将来の目標を持っている

評価4	6
評価3	24
評価2	14
評価1	0



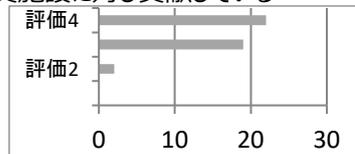
12) 自己の看護観を形成し、他者を表現できる

評価4	3
評価3	22
評価2	18
評価1	1



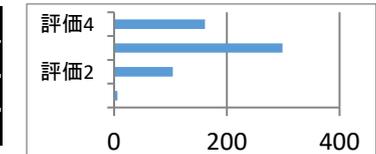
13) 当該の卒業生は、貴施設に対し貢献している

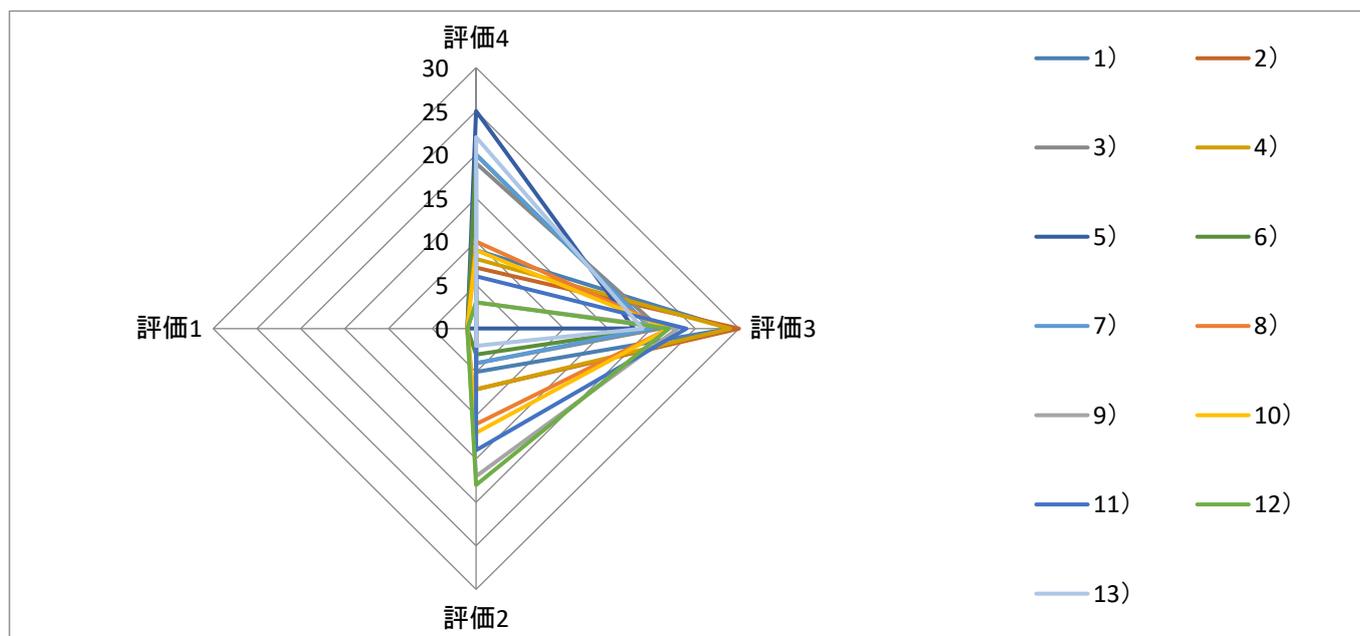
評価4	22
評価3	19
評価2	2
評価1	0



14) 合計

評価4	161
評価3	299
評価2	104
評価1	6





2-1. 卒業生の職種

入職時 保健師：2名 助産師：0名 看護師：44名 准看護師：2名 その他：0名 合計：48名
 現在 保健師：2名 助産師：0名 看護師：38名 准看護師：0名 その他：5名 合計：45名

2-2. 退職時期

2018.12:1名 2018.09:1名 2019.03:1名 2019.04:1名 2019.05:1名 2020.03:3名
 2020.09:1名 2021.03:1名 合計:10名

退職理由：

家庭の事情：2名 健康上の理由：1名 進学：0名
 その他（人間関係：1名 体調不良：1名 県外に出たい：1名）

2-3. 卒業生について、お気づきの点等

- ・ 一般的に一生懸命で頑張り屋が多い印象。素直で吸収力も高く成長のプラスサイクルで期待している。
- ・ 自分は出来るという思いでいたようだが、仕事をしていて人の命に密に接する仕事だということで精神的にまいっている事もあった。失敗する事や非を認めることが出来ない所がある。
- ・ 自己主張が強く先輩との関わりにおいて言葉遣い・口調など問題視される面あり。後輩にも強い口調で困惑する者もいる。個性をプラスに変化させるよう関わっていきます。数年後が楽しみな存在です。
- ・ 現在長期病気休業中です。
- ・ 患者の気持ちに寄り添い良好な関係を持つことが出来ている。疑問に思ったことをうやむやにせず行動している。
- ・ 穏やかな人柄でスタッフと患者さんに優しく接している。半面自分の考えや思いを伝えることが出来たらと思う。
- ・ 他職種との連携を図る事が出来ない。患者の状況や特性をふまえた看護援助をする事が困難な様子がみられる。
- ・ 多く課題に直面した時、優先順位の選択が不確実で業務の中断から再開する時などミスにつながっている。一生懸命さは伝わるが、成長の具合はゆっくりで何度も確認作業が必要。
- ・ 研究やチーム内での役割を理解し自ら率先して行っている。学校での学びを活かし頑張っている。
- ・ NSTのリンクNSとして多職種との調整役や看護研究を自主的に取り組んでいる。新人看護師のメンターとして精神面のフォローや教育を実践している。
- ・ 看護研究や症例検討等に熱心に取り組んでいる。当病棟にとってなくてはならない存在、頼りにしている。
- ・ プリセプターとして後輩育成を頑張っている。
- ・ 優しく真面目で一生懸命な性格で仕事はきちんとしていますが、一人で抱えてしまう事が多々ある。

- ・自ら進んで学習に取り組む姿勢は感じられない。指導内容を覚えるのも人一番かかるため時間をかけて指導していきます。
- ・3年目の勤務となるが産休・育休が入り、トレーナー保健師事業の活用等、現任教育が中断した経緯有。今年度、育休から復帰、1年目の主担業務を継続しながら活動している。
- ・患者やスタッフからも親われている。考える力も備わっており貴学で良い学びをされたのだと思います。
- ・現在助産師学校在学中。
- ・あまり深く考えてみる事が苦手のようにこれから経験を積むことが大切かと思う。
- ・言葉遣い、接遇、患者を含む目上の方への対応が未熟である。
- ・自己主張はするが責任と他の看護師を拒絶してしまうことがある。「夜勤を一緒にしたくない」と勤務変更を要望された。
- ・高齢患者との関係を上手に築き看護ケアに取り組んでいるが、学習意欲と向上心がないのが残念。
- ・患者のマイナスイメージについてナースステーションで話しているので注意をしている。どんな患者にも平等に接すること、考え方の部分(論理性)はどのように成長させていくか考慮している。
- ・笑顔で患者さんに優しく接している。
- ・科学的に基づいたケアや患者の理解につながる知識に不足があり、学習していく方法が習得できていない。
- ・真面目で何事にも一生懸命に取り組む姿勢が素晴らしい。

2-4. 本調査について、お気づきの点

- ・個人評価をどのように活用するのか卒業生全体でなく個人にする理由が知りたい。
- ・評価対象となる卒業生には、このようなアンケートが実施されることについて伝わっているのか。お願い文の中に一文補足説明があると良い。(3)
- ・卒業生が頑張っている事を知って頂き今後も応援して頂けたらと思う。
- ・調査のアンケートが、対象が入職してからなのかOJTを通し成長してきている今の状況を書くべきか悩みました。今回は、1年目の様子を回答しています。
- ・科学的に基づいたケアや患者の理解につながる知識に不足があり、学習していくための方法が習得できていない。
- ・専門職業人として自覚と接遇についても項目があってもよいと思う。
- ・姿勢や態度など接遇についても追加してほしい。
- ・対象者が不明確でなぜこの時期にこのようなアンケートをお求めになるのかがよく分からない。
- ・3)で回答した内容は個人の特性によるものかもしれず、貴校の卒業生全体に当てはまるとは限らない。